

健康の公平性を推進する目的での コミュニティベースの参加型混合研究法 (MMCBPR) の活用

講演者: P. Paul Chandanabhuma (PhD, MPH, 助教)

共著者: Annika Agni (研究助手)

Melissa DeJonckheere (PhD, ミシガン大学家庭医療学科助教)

JSMMR 2022カンファレンス用ワークショッププレゼンテーション

Sunday October 16, 2022

議題

- MMRとCBPRの概要
- MMCBPRの紹介
- MMCBPRの実例
- 内省エクササイズ
- 質疑応答

近日発表予定



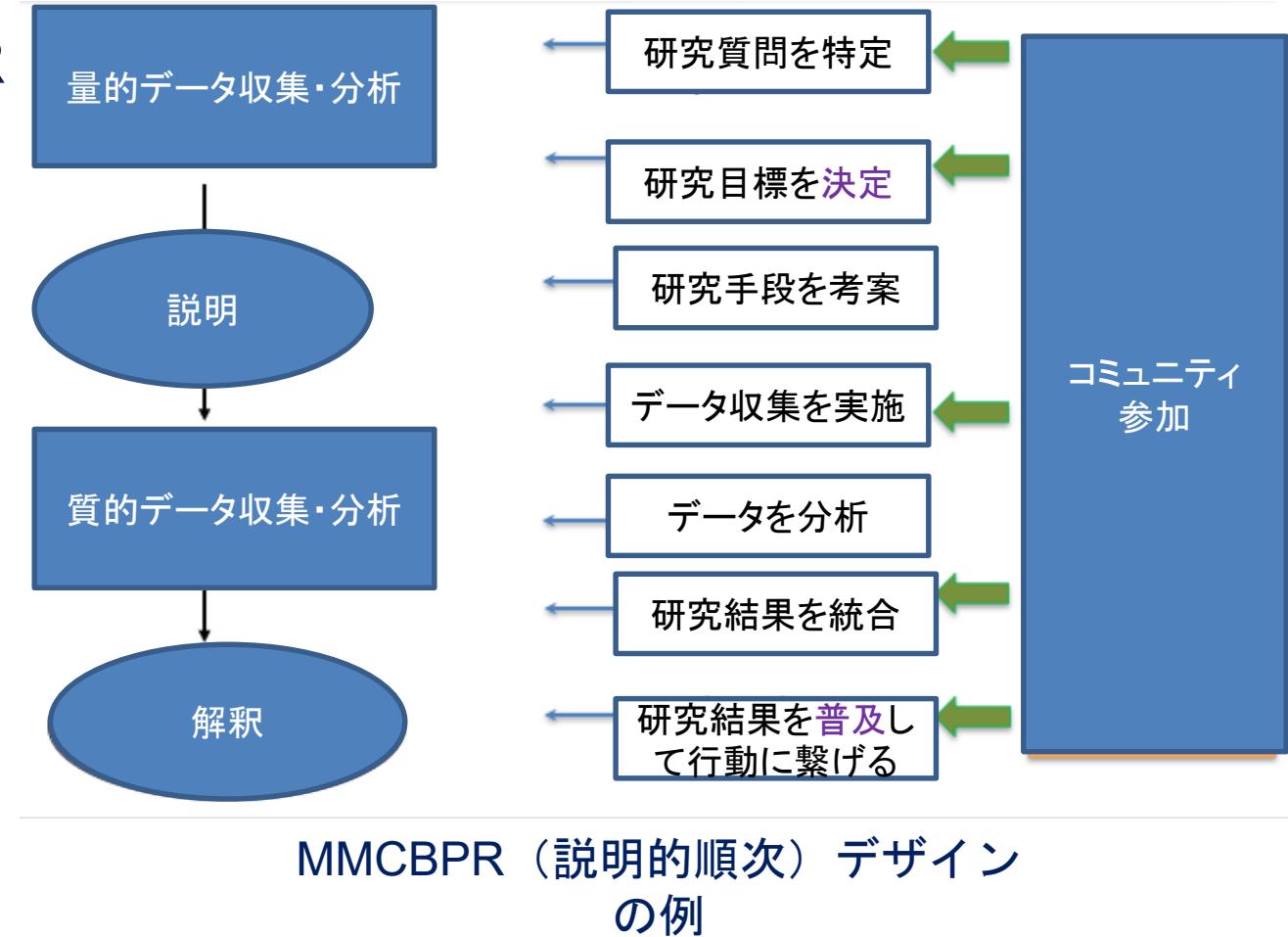
Chandanabhumma, P.P., Agni, A., & DeJonckheere, M. (2023). 米国における健康の公平性を推進する目的で、多様な社会的・文化的文脈で、コミュニティベースの参加型混合研究法（MMCBPR）を活用する。In: Poth, C. (Ed.), 『The Sage handbook of mixed methods research design (混合研究法デザインに関する賢者のハンドブック)』. [近刊]

主な用語集

概念	定義
混合研究法 (MMR)	研究または一連の研究における量的アプローチと質的アプローチの意図的な混合 (Creswell & Plano Clark, 2018)
コミュニティベースの参加型研究法 (CBPR)	多くの場合、コミュニティの健康と健康の公平性の改善を目標として、研究プロセスを通してコミュニティの成員を積極的かつ公平に 関与 させる協力的アプローチ (Israel他, 2013; Wallerstein他, 2018)
コミュニティベースの参加型混合研究法 (MMCPR)	コミュニティベースの参加型研究の枠組みの中における混合法アプローチの統合 (Dejonckheere他, 2019)
コミュニティ	共通の地理的位置、文化的考え方、職業、健康状態など、関心対象、アイデンティティ、基準などが合致している個人の集団 (Israel他, 2018)
文化	集団の成員が、生存を確実にし、人生に集合的な意味を与えるために用いる動的で相互に関連している生態学的要素で構成される、内面的かつ 共通 の枠組み (Kagawa Singer他, 1993, 2016; Hartigan, 2010)
医療格差	社会的に不利な集団が、社会的に有利な集団よりも、体系的に健康的に不利な状態にあるという、回避できるかもしれない 健康面の 格差 (Braveman, 2006)

混合法デザインにおける進展

- 実践者は、交差する核となるMMRデザインと別の手法を活用して、複雑な研究の文脈に対処する
- MMR手順とコアデザインの至るところに**参加の要素**を組み込むことができる
- コミュニティベースの参加型混合研究法 (MMCBPR) は、核となるMMRデザインをCBPRの枠組みの中に適用した場合に現れる



MMRとCBPRの概要

CBPRを活かして医療格差に取り組む

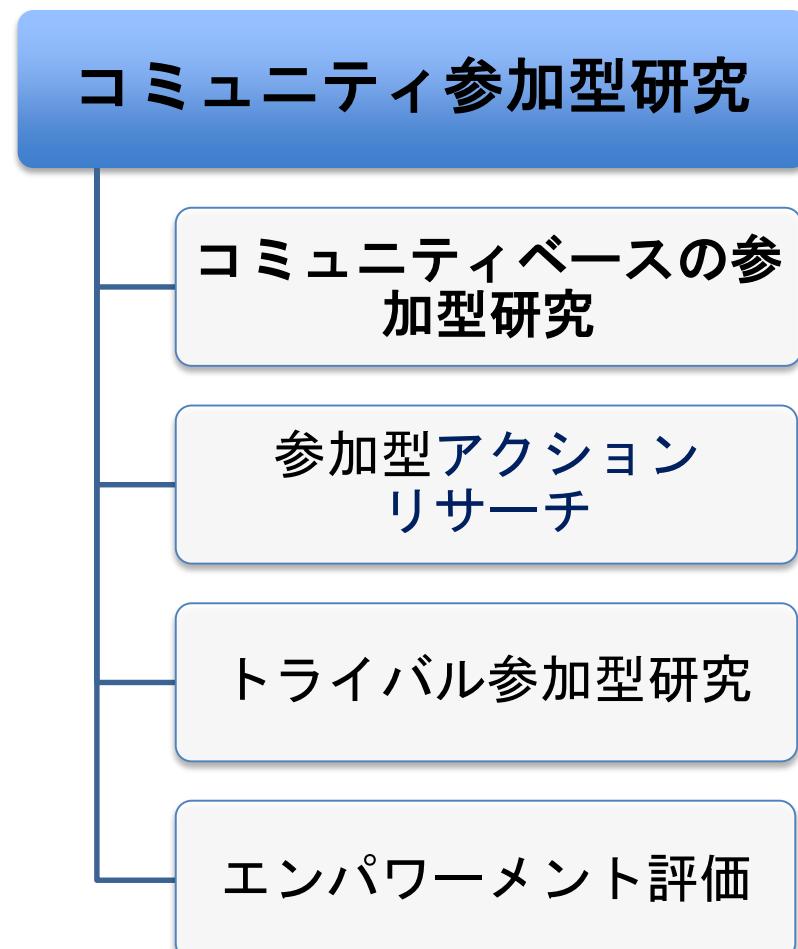
- 米国では、さまざまな形の社会的抑圧や不公正により、多様なコミュニティで医療格差が残っている
- コロナウイルス・パンデミックからのリマインダー：人の健康は、その人が属するコミュニティとそれを形成する力により影響を受ける
- 医療格差に取り組むため、影響を受けるコミュニティとの研究協力を求める声が増加



Source: Cacari-Stone et al., 2014; Chowkwanyun & Reed, 2020; Ford, 2020; Wallerstein & Duran, 2010

CBPRとは？

- CBPRとは、コミュニティ参加型研究の一種：研究プロセスにおける**積極的な参加者としてのコミュニティの成員との協力**が行われるアプローチ
- 過去30年間、米国では、CBPRを推進するための研究資金、研修、および宣伝の取り組みが増加



Source: Israel et al, 2013; McCloskey et al., 2011; Mercer & Green, 2008; Wallerstein et al., 2018, Viswanathan et al., 2004

CBPRの主な原則

アイデンティティの単位としてのコミュニティ

強みとリソースの上に築く

協力的で公正なパートナーシップ

共同学習と能力構築

研究と行動のバランス

地域の健康問題

循環型でインタラクティブ

参加型宣伝

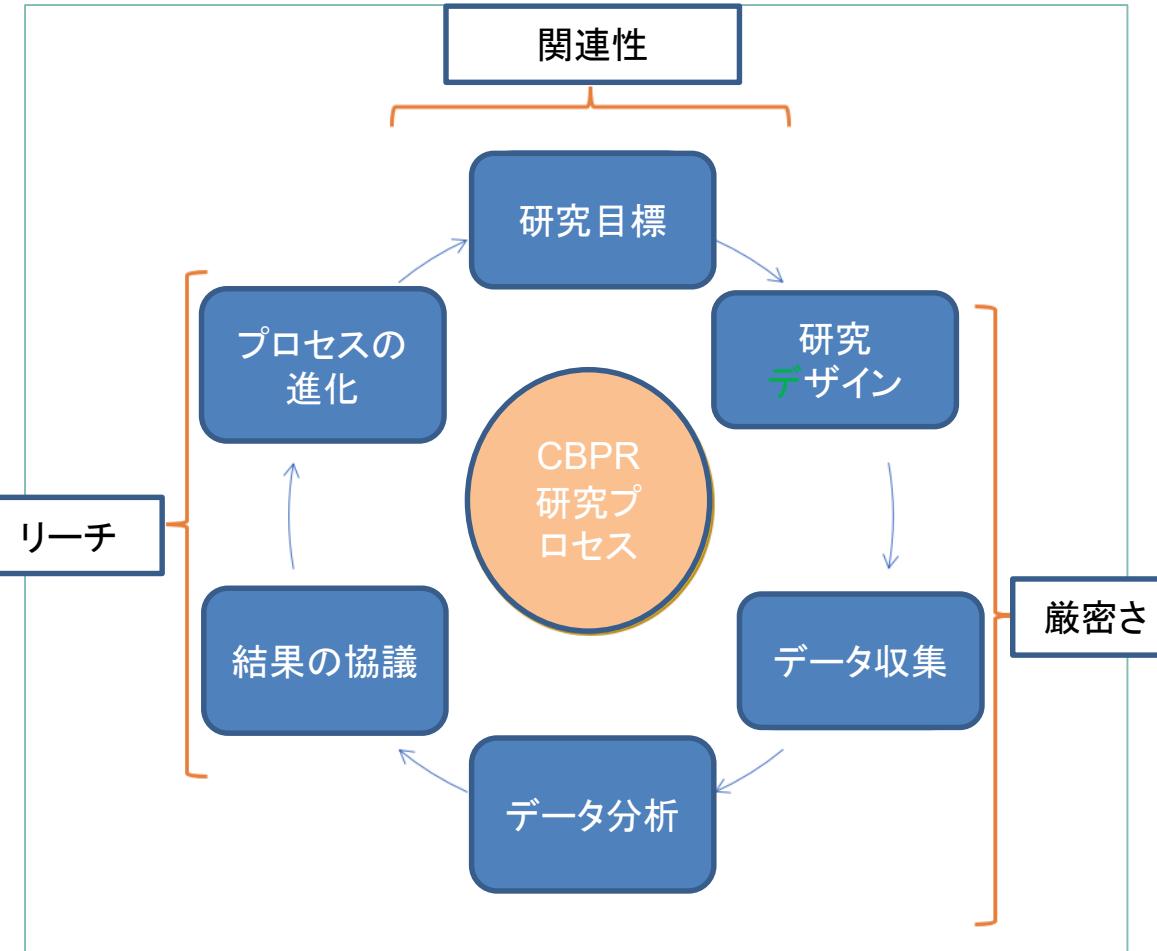
長期のプロセスと持続可能性

公平性と文化への謙虚さ

CBPRの影響

メタ分析と系統的レビューが、健康と社会的成果に関するCBPRのメリットを裏付ける

CBPRは、あらゆる分野で、コミュニティベースの研究努力の関連性、リーチ、厳密さ、質、そして持続可能性を向上させることができる



Source: Balazs & Morello-Frosch, 2013; Cyril et al., 2015;
O'Mara-Eves et al., 2015; Salimi et al., 2012

CBPRの3R (Rigor, Relevance, Reach (厳密さ、関連性、リーチ)) (Balazs & Morello-Frosch, 2013より適応)

MMCBPRの紹介

なぜMMCBPRなのか？

MMCBPRは、コミュニティの成員との真のパートナーシップを優先する横並びの研究モデルである

CBPRの枠組みは、MMRの学者がコミュニティのニーズを優先し、コミュニティの強みを活かし、公正なパートナーシップを促進するのを後押しすることができる

CBPRとMMRの交差は、実践者が、パートナーシップ・コミュニティの文化的文脈をナビゲートし、健康の公平性を推進するのを助けることができる

DeJonckheere他 (2018) のレビュー

Empirical Research

Intersection of Mixed Methods and Community-Based Participatory Research: A Methodological Review

Journal of Mixed Methods Research
1–22
© The Author(s) 2018
Reprints and permissions:
sagepub.com/journalsPermissions.nav
DOI: 10.1177/1558689818778469
journals.sagepub.com/home/mmr
SAGE

Melissa DeJonckheere¹ , Robin Lindquist-Grantz², Sinem Toraman², Kristen Haddad² and Lisa M. Vaughn^{2,3}

Abstract
Although mixed methods research (MMR) and community-based participatory research (CBPR) have been employed to investigate complex research questions to improve the reach, rigor, and

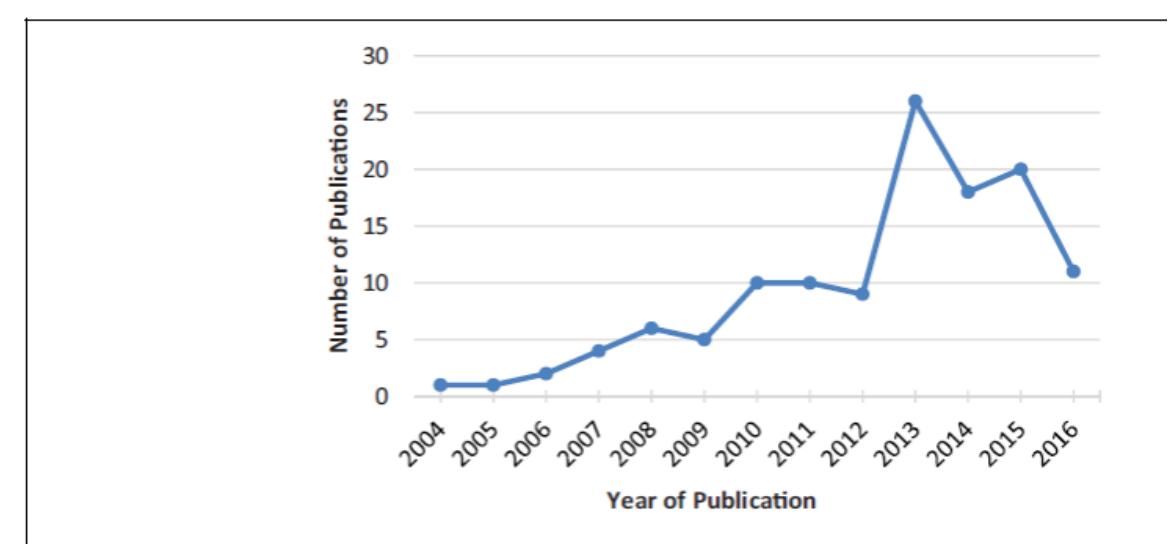


Figure 2. MMCBPR studies by year of publication.

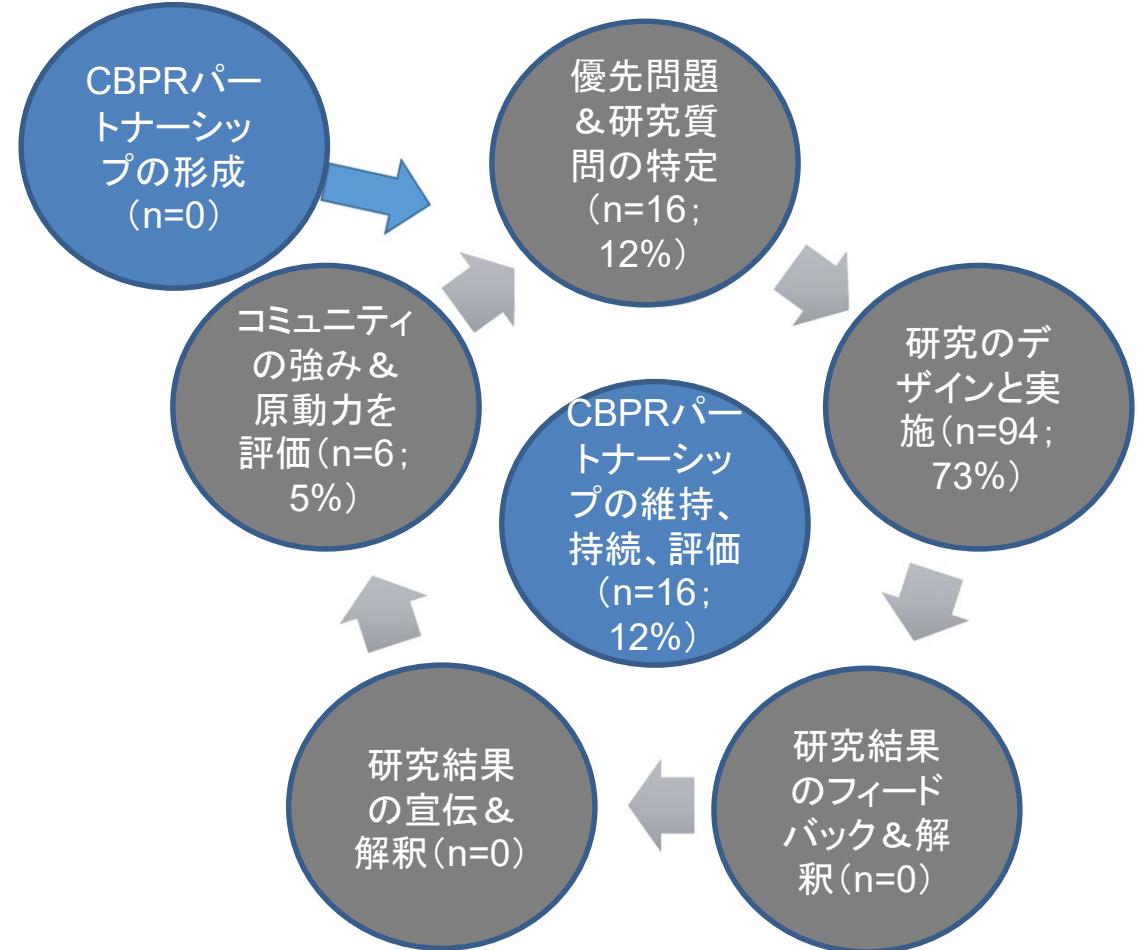
*Year 2017 was intentionally excluded due to data being available for only half of the year.

- CBPRとMMRを使用したことが報告されている査読済み論文 (n= 129)
- 2004～2017年の間に発表；大部分は2010年以降

Source: DeJonckheere et al., 2018

DeJonckheere他 (2018) の研究結果

- MMCBPRがすべてのMMデザインで用いられている
 - 36% 収斂
 - 12% 説明的順次
 - 12% 探索的順次
 - 13% 多段階
- 交差の大半はデザインと研究実施の際に生じている
- ギャップ：MMCPRはいかにして実践者がコミュニティの多様な文化的文脈に対応するのを後押ししているか？



Source: DeJonckheere et al., 2018

MMCBPRの実例

例：McKinley他 (2019)

プロジェクト：文化反応的な薬物乱用と暴力防止介入

コミュニティ文脈：米国南東部のアメリカ先住民やアラスカ先住民 (AI/AN) コミュニティ

MMRデザイン：収斂混合法デザイン (量的調査と質的観察結果・面接を混合)

課題：これまでの介入はAI/ANコミュニティのニーズを満たしておらず、有害をもたらすこともあった

戦略：

- ✓ 強みとリソースの上に築く：ポジティブで保護的な要因に焦点
- ✓ 公正なパートナーシップ：データ収集・分析に部族の成員を関与させた
- ✓ 公正と文化的謙虚：歴史的抑圧を認め、部族の慣習に則った

例 : Corvin他 (2017)

プロジェクト : 慢性疾患と軽度鬱病の両方を患っているラテン系住民における自己管理プログラム

コミュニティ文脈 : 中部フロリダで十分なサービスを受けていないラテン系住民

MMRデザイン : 多段階混合法デザイン (介入をデザインし量的に試験するための質的焦点集団と面談)

課題 : 慢性疾患と鬱病が同時に起こっているラテン系住民における、文化的兆候と十分なケアやリソースへのアクセス不足

戦略 :

- ✓ 強みとリソースの上に築く : 同じような状況を経験済みの、信頼できるバイリンガルのコミュニティの成員を通じて、プロジェクトを導入した
- ✓ 共同学習 : 郁病のネガティブな含意が伝わらないような別の言語を用いた

例：Grant他 (2021)

プロジェクト：休み時間中の身体活動を改善させるための学校ベースの介入

コミュニティ文脈：モンタナ州北西部のアメリカ先住民保留地

MMRデザイン：順次的混合法デザイン（介入を開発し量的に試験するため質的焦点集団を用いる）

課題：従来の研究アプローチの疑義の歴史に言及し、部族のリーダーと信頼を築く

戦略：

- ✓ 強みとリソースの上に築く：部族の審査委員会の役割と承認を尊重した
- ✓ 公正なパートナーシップ：コミュニティの成員との間で進行状況を共有し、フィードバックを求めた
- ✓ 参加型宣伝：プロジェクトを通してコミュニティの成員との間で研究結果を共有

MMCBPR使用時の重要な戦略

- ✓ 抑圧の過去と現在の形を認知した枠組みを組み込む
- ✓ コミュニティの資産と障壁について文化的に特別な理解を築く
- ✓ 研究者と社会的に軽視されたコミュニティとの間に信頼を築く
- ✓ コミュニティの成員の文化的観点に注意を払い、その関与を促進する
- ✓ インクルーシブかつ公正な意思決定により、コミュニティと研究の観点を統合する

MMCBPRの課題に対処する

- パートナーシップの文脈に適応する：どのCBPR原則が重要で、各パートナーシップの目標が何なのか、共同で特定する
- 変化するコミュニティの関心対象に適応する：MMRの質問やデザインを、変化するコミュニティのニーズや優先順位に適応できるようにしておく
- 変化する社会環境に適応する：パートナーシップの強みとリソースを最大化し、変化する社会的課題に対応する
- 権力分割と意思決定を尊重する：コミュニティ・パートナーの貢献内容について合意し、公正でない研究関係について協議する

内省エクササイズ



内省エクササイズ (10 min)

- 次の5つの質問について考え、（ノート、用紙、パソコンなどに）答えを書き留めてください
- 健康または社会的問題に対処するため、あなたがコミュニティの成員と協力している（/しているかもしれない）MMRプロジェクトについて考えてください。

そのコミュニティのパートナーは誰で、彼らの健康についての優先順位はどのようになっていますか？

(2 min)

あなたが計画するMMR
デザインはどのような
ものですか？

(2 min)

CBPRの原則をあなたの
MMRデザインにどのように
適用しますか？

(2 min)

そのコミュニティで自身の
プロジェクトを導入する際、
どのような課題が
生じえますか？

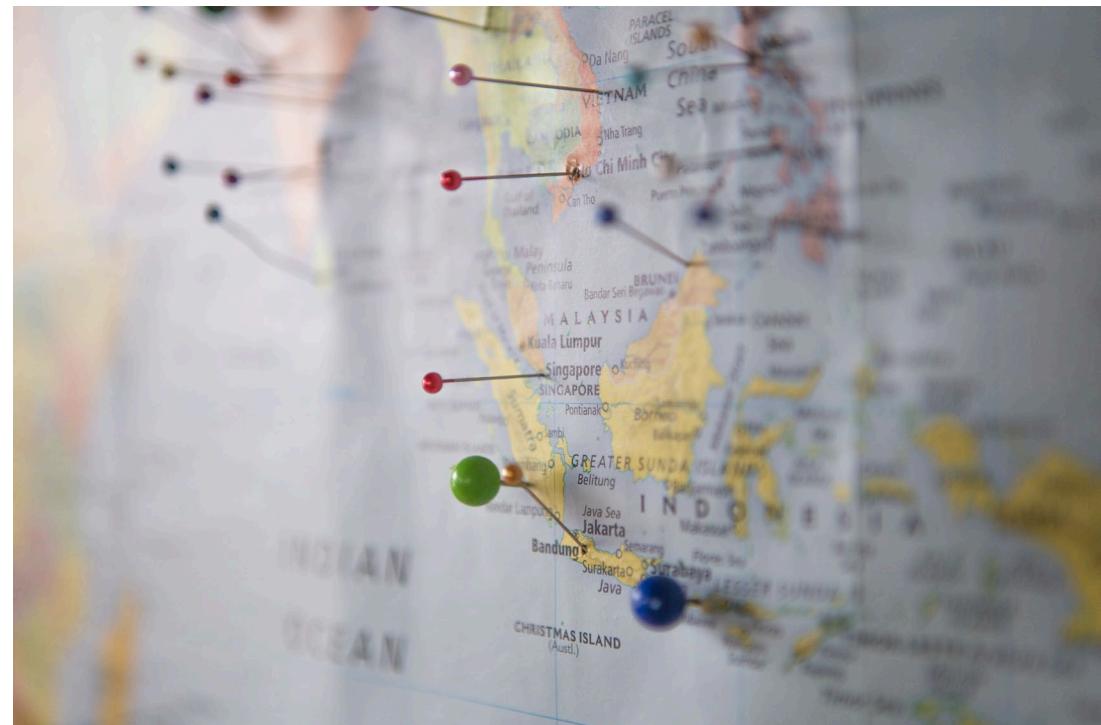
(2 min)

MMCPR研究で確認される戦略
を使って、課題にどう対処
しますか？

(2 min)

グローバルな文脈での応用性

- CBPRの概念（アクションリサーチとリベレーションなど）は、世界各地における過去と現在進行中の両方の動きに根差している。
- たとえば、MMCBPRは、世界各地で以下の目的で利用されている：
 - ウガンダ：健康に関する研究におけるコミュニティの優先順位を特定するため。
 - 日本：健康に関するプログラムにおけるコミュニティの優先傾向を判断するため。
 - 地方の先住民コミュニティとCBPRパートナーシップを導入するため。
 - その他！



Source: Dowhaniuk et al., 2021; Haya et al., 2021; Snijder et al., 2020; Wallerstein & Duran, 2018

グローバルな応用について



コミュニティの文脈は異なるかもしれないものの、MMCBPRは、今後も、多様なグローバル設定で応用されるべきである。

今後の研究で考察すべきこと：

- ・グローバルな設定におけるMMCBPR応用のバリエーション
- ・世界各地の文化的課題のかじ取りをするための戦略
- ・グローバルな健康の公平性へのMMCBPRによる貢献

ありがとうございました！



References (I)

- Balazs, C. L., & Morello-Frosch, R. (2013). The three Rs: How community-based participatory research strengthens the rigor, relevance, and reach of science. *Environmental justice*, 6(1), 9-16.
- Braveman, P. (2006). Health disparities and health equity: Concepts and measurement. *Annual Review of Public Health*, 27, 167-194.
<https://doi.org/10.1146/annurev.publhealth.27.021405.102103>
- Cacari-Stone, L., Wallerstein, N., Garcia, A. P., & Minkler, M. (2014). The promise of community-based participatory research for health equity: A conceptual model for bridging evidence with policy. *American Journal of Public Health*, 104(9), 1615-1623. <https://doi.org/10.2105/AJPH.2014.301961>
- Creswell, J. W., & Plano Clark, V. L. (2018). *Designing and conducting mixed methods research* (3rd ed.).
- Cyril, S., Smith, B. J., Possamai-Inesedy, A., & Renzaho, A. M. N. (2015). Exploring the role of community engagement in improving the health of disadvantaged populations: A systematic review. *Global Health Action*, 18(8), 29842. <https://doi.org/10.3402/gha.v8.29842>
- DeJonckheere, M., Lindquist-Grantz, R., Toraman, S., Haddad, K., & Vaughn, L. M. (2019). Intersection of mixed methods and community-based participatory research: A methodological review. *Journal of Mixed Methods Research*, 13(4), 481-502. <https://doi.org/10.1177/1558689818778469>
- Dowhaniuk, N., Ojok, S., & McKune, S. L. (2021). Setting a research agenda to improve community health: An inclusive mixed-methods approach in Northern Uganda. *PLoS One*, 16(1), e0244249. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0244249>
- Ford, C. L. (2020). Addressing inequities in the era of COVID-19: The pandemic and the urgent need for critical race theory. *Family and Community Health*, 43(3), 184-186.
<https://doi.org/10.1097/FCH.0000000000000266>
- Hartigan, J. (2010). *Race in the 21st century: Ethnographic approaches*.
- Haya, M. A. N., Ichikawa, S., Shibagaki, Y., Akame Machijuu Genki Project Community Advisory Board, Wakabayashi, H., & Takemura, Y. (2020). The "Healthy Akame!" community - government - university collaboration for health: A community-based participatory mixed-method approach to address health issue in rural Japan. *BMC Health Services Research*, 20(1), 1100. <https://doi.org/10.1186/s12913-020-05916-w>
- Israel, B. A., Eng, E., Schulz, A. J., & Parker, E. A. (2013). Introduction to methods in community-based participatory research for health (2nd ed.). In B. A. Israel, E. Eng, A. J. Schulz, & E. A. Parker (Eds.), *Methods in community-based participatory research for health* (pp. 1-42). Jossey-Bass.
- Israel, B. A., Eng, E., Schulz, A. J., Becker, A. B., Allen, A. J., Guzman, J. R., & Lichtenstein, R. (2018). Critical issues in developing and following CBPR principles. In N. B. Wallerstein, B. M. Duran, J. G. Oetzel, & M. Minkler (Eds.), *Community-based participatory research for health* (pp. 31-44). Jossey-Bass.

References (II)

- Kagawa-Singer, M. (1993). Redefining health: Living with cancer. *Social Science & Medicine*, 37(3), 295-304. [https://doi.org/10.1016/0277-9536\(93\)90261-2](https://doi.org/10.1016/0277-9536(93)90261-2)
- Kagawa-Singer, M., Dressler, W., & George, S. (2016). Culture: The missing link in health research. *Social Science & Medicine*, 170, 237-246. <https://doi.org/10.1016/j.socscimed.2016.07.015>
- Mercer, S. L., & Green L. W. (2008). Federal funding and support for participatory research in public health and health care. In M. Minkler & N. Wallerstein (Eds.), *Community-based participatory research for health* (pp. 399-406). Jossey-Bass.
- McCloskey, D., Aguilar-Gaxiola, S., & Michener, J. (2011). CTSA Community Engagement Key Function Committee Task Force on the Principles of Community Engagement. Center for Disease Control (CDC). http://www.atsdr.cdc.gov/communityengagement/pce_ctsa.html
- O'Mara-Eves, A., Brunton, G., Oliver, S., Kavanagh, J., Jamal, F., & Thomas, J. (2015). The effectiveness of community engagement in public health interventions for disadvantaged groups: A meta-analysis. *BMC Public Health*, 15(129). <https://doi.org/10.1186/s12889-015-1352-y>
- Plano Clark, V. L., & Ivankova, N. V. (2016). *Mixed methods research: A guide to the field*. Sage Research Methods. <https://dx.doi.org/10.4135/9781483398341>
- Salimi, Y., Shahandeh, K., Malekafzali, H., Loori, N., Kheiltash, A., Jamshidi, E., Frouzan, A. S., & Majdzadeh, R. (2012). Is community-based participatory research (CBPR) useful? A systemic review on papers in a decade. *International Journal on Preventative Medicine*, 3(6), 386-392.
- Snijder, M., Wagemakers, A., Calabria, B., Byrne, B., O'Neill, J., Bamblett, R., Munro, A., & Shakeshaft, A. (2020). 'We walked side by side through the whole thing': A mixed-methods study of key elements of community-based participatory research partnerships between rural Aboriginal communities and researchers. *The Australian Journal of Rural Health*, 28(4), 338-350. <https://doi.org/10.1111/ajr.12655>.
- Viswanathan, M., Ammerman, A., Eng, E., Gartlehner, G., Lohr, K. N., Griffith, D., Rhodes, S., Samuel-Hodge, C., Maty, S., Lux, L., Webb, L., Sutton, S. F., Swinson, T., Jackman, A., & Whitener, L. (2004). *Community-based participatory research: Assessing the evidence* (AHRQ Publication No. 04-E022-2). Agency for Healthcare Research and Quality: Evidence Report/Technology Assessment, 99, 1-8. <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK37280/>
- Wallerstein, N., & Duran, B. (2010). Community-based participatory research contributions to intervention research: The intersection of science and practice to improve health equity. *American Journal of Public Health*, 100(S1), S40-S46. <https://doi.org/10.2105/AJPH.2009.184036>
- Wallerstein, N., Duran, B., Oetzel, J.G., & Minkler, M. (2018) On community-based participatory research. In N. B. Wallerstein, B. M. Duran, J. G. Oetzel, & M. Minkler (Eds.), *Community-based participatory research for health* (pp. 3-16). Jossey-Bass.



Leveraging Mixed Methods Community-based Participatory Research (MMCBPR) to Advance Health Equity

Presenter: P. Paul Chandanabhumma, PhD, MPH, Assistant Professor

Co-Authors: Annika Agni, Research Assistant

Melissa DeJonckheere, PhD, Assistant Professor

Department of Family Medicine, University of Michigan

Workshop Presentation for the JSMMR 2022 Conference
Sunday October 16, 2022